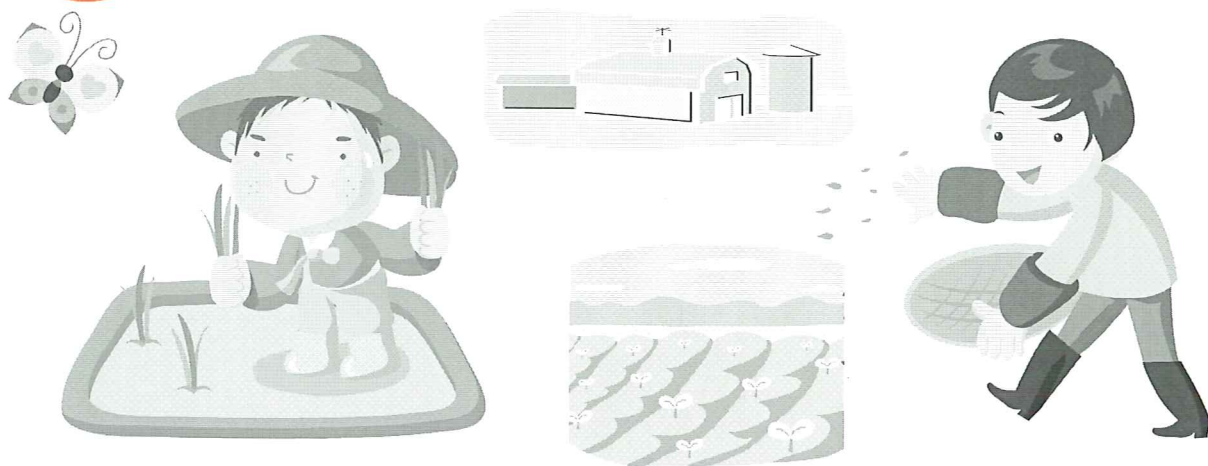


市民農業講座

さっぽろ農学校

入門コース 平成22年度受講生募集



市民農業講座

さっぽろ農学校
とは.....

—— 新しい都市農業のかたちを共に考え、学び実践する場 ——

市民農業講座「さっぽろ農学校」は、札幌市民を対象に、農業と市民をつなぐ役割を担い、地元の農業を支え、食と農の大切さを発信できる人材の育成を目的として、平成13年にスタートしました。

家庭菜園や市民農園を楽しんでいる方や、これから野菜づくりを楽しみたい方を応援するための「入門コース」と、農業に関する知識や栽培技術の習得を目指し、圃場での演習と講義を行う「専修コース」があります。入門コースの修了生は講義で得た知識をもとに家庭菜園や市民農園をより充実したものにしているほか、農業に興味や参入意欲のある方の中には、さらなるステップアップとして、翌年に専修コースに進む方もいます。専修コースの修了生は、様々な場面で活躍しており、農業者として就農した方、就農研修に取り組む方、NPO法人を立ち上げ様々な方面から農業に取り組む方、農業ボランティアや農体験リーダー(※)として、子どもたちの農業体験の講師として活躍する方など、多くの修了生が農業と関わりのある活動を行っています。

※農体験リーダーとは

市民農業講座「さっぽろ農学校」専修コースの修了生など、一定の農業技術や知識を習得した市民の方を「農体験リーダー」として認定し、小中学校の「総合的な学習の時間」やクラブ活動等の課外活動等に派遣する制度です。



指定管理者

さとみらいプロジェクトグループ

さっぽろ農学校・入門コース 募集要項

◆ 募集対象

野菜栽培に関心や興味を持つ 15 歳以上の方。

◆ 開催期間・回数・時間

開催期間 平成 22 年 4 月 11 日～平成 22 年 9 月 26 日(予備日含む)

講義回数 18 回(日曜日) 1 回 2 講(全 36 講)

時 間 第 1 講 9:30～10:30 第 2 講 10:40～11:40

※変更する場合がございます。ご了承下さい。

◆ 募集定員

全期間 100 名

なお、各回の講座では開催当日ごとの受講受け付けもいたします(先着 40 名)。

◆ 会 場

サッポロさとらんどセンター 視聴覚室

◆ 受 講 料

全期間(講義 18 回資料代も含む) 8,000 円

開催当日受付の場合 1 回 500 円

◆ 受講料の納入方法

全期間を申し込みされた方は、さとらんどセンターの受付(窓口)に直接お支払いいただきます。詳細は返信ハガキでお知らせいたします。なお、一旦納められた受講料につきましては、お返しできませんので、ご了承ください。

◆ 応募方法

官製往復ハガキに氏名(フリガナ)、年齢、住所、電話番号、返信先を必ず記入の上(往復ハガキ記入例参照)、下記申込先まで郵送してください。往復ハガキ持参による申込みも受け付けいたします。

◆ 申込期限

平成 22 年 1 月 13 日(水)～平成 22 年 3 月 31 日(水)(必着)

◆ 申 込 先

〒007-0880 札幌市東区丘珠町 584 番地 2

サッポロさとらんど「さっぽろ農学校」入門コース係

※持参の場合は、さとらんどセンター受付まで。

◆ 受講者の決定

応募者多数の場合には、抽選により受講者を決定いたします。抽選結果につきましては 3/31(水)の応募期間終了後、往復ハガキの返送にて通知いたします。

※先着順ではございませんので、ご了承ください。

平成22年度 農学校 講義内容とスケジュール(全18回・36単位)

回	月日	課 目	内 容
1	4/11	開講式	入門コース概要説明
		野菜栽培の基礎(その1)	野菜づくりの基礎、植え付け前の土作り、堆肥と石灰、土壌酸度
2	4/18	野菜栽培の基礎(その2)	栽培計画、苗の植え方、種子のまき方など
		野菜栽培の基礎(その3)	作物の分類、野菜の発芽温度と生育適温、連作と輪作
3	4/25	クリーンで美味しい野菜を①	畑の土壌環境を整える。物理的、化学的、生物的に考えよう
		イモ類の栽培法について	催芽と芽数、品種の特性、連作障害、病害対策、土寄せ
4	5/9	トウモロコシは基肥おさえ追肥を	スーパースイートコーンの特性、大切な追肥、収穫適期
		クリーンで美味しい野菜を②	気象環境を整える。春の低温対策、マルチ、トンネル、べたがけ
5	5/16	「栄養満点でエコ」なマメ科作物	エンドウ、えだまめ(大豆)、小豆、インゲン類の特徴と栽培
		容器栽培の種類と適応する野菜	コンテナ、プランター、ポットの床土など
6	5/23	ナス科果菜類の芽掻き摘芯整姿	ナス、トマト、ピーマンの品種、保温、仕立て方
		クリーンで美味しい野菜を③	生物環境を整える。病害虫の知識、防除する方法や資材について
7	5/30	ウリ科果菜類の摘芯と人工交配	南瓜、キュウリ、西瓜、メロン、品種特性、作型、整枝
		変化してきた根菜類の種類品種	ニンジン、ゴボウ、ナガイモなど
8	6/6	アブラナ科、根こぶ病は土壌菌	ダイコン、カブ、ハクサイ、キャベツ、つけ菜類の作型
		家庭で役立つハーブ	和風ハーブと西洋ハーブの種類と利用法と貯蔵保存
9	6/13	ネギ、アスパラガスはユリ科	一年生のタマネギ、永年生のアスパラガス、やぐら葱との違い
		葉菜類のバラ播栽培と間引収穫	ホウレンソウ、シュンギク、レタスのバラ播きと逐次収穫
10	6/20	秋野菜のための床づくりと準備	前作と後作の関係、播種と灌水、容器プランターの多毛作
		秋用野菜の種類、用途別の品種	家庭菜園を有効に使用方法:二毛作について
11	6/27	コンパニオンプランツとは	コンパニオンプランツによる間混作は環境にやさしいか
		クリーンで美味しい野菜を④	生物環境を整える。雑草防除について考えよう
12	7/4	収穫物残渣の取扱。畑の肥沃化	畑副産物の処理活用と鋤込みによる一時的窒素飢餓に注意
		連作できる作物と安心な防除薬	カボチャ、ニンジン、タマネギの栽培法。菜園用防除薬剤
13	7/11	マイナーベジタブルは小物野菜	郷土野菜、際物、妻もの、珍奇な野菜、暖地の自慢種紹介
		夏季の菜園の適切な収穫と管理	サヤインゲン、トマト、ナス、エダマメの適切な収穫
14	7/25	外国野菜の食味になじんで自作	ヤーコン、ズッキーニ、セロリ、チコリー、アーティチョーク
		畑の隅に便利な永年作物	ミョウガ、ニラ、アサツキ、山わさび等の栽培
15	8/1	ハウスで果菜類の生育期間延長	トマト、ナス、オクラにマルチとハウス設定、1ヶ月延伸
		初秋定植や播種出来る軟弱野菜	イチゴ、ニンニク、ラッキョウの定植のタイミングと準備
16	8/29	クリーンで美味しい野菜を⑤	秋野菜の適期収穫、収穫後の管理、貯蔵の方法
		家庭でできる農産加工品(1)	ルバーブやベリー類などのジャム加工、キュウリ等の漬け物加工
17	9/5	来年の為の用意 堆肥を作る	堆肥の作り方、原料の特性と組み合わせの目安、生ゴミ堆肥
		来年に役立つ 基礎知識総復習	土壌改良、土壌診断、施肥の基本、農薬使用法、資材活用
18	9/26	山の恵「山菜」を里で採る	山菜の定番「タラの芽」、ギョウジャニンニク等を身近に栽培
		家庭でできる農産加工品(2)	味噌などの大豆加工、ナンバン・シソの佃煮
			[閉講式]

※入門コースの授業は、すべて講義形式となっております。実習はございませんので、ご了承ください。

講座の講師

講座の終了

コースを通して申込をされた方で、講座の7割以上を出席された方に受講修了証を授与いたします。

個人情報の保護

応募に伴い、ご提供いただく個人情報は、入門コースの募集目的に限定して使用いたします。

往復ハガキ記入例

往信

50	往復はがき 0070880	
往信		ここには何も 記入しないで ください
札幌市東区丘珠584番地2 サッポロさとらんど 「さっぽろ農学校」 入門コース係		

〈返信はがきの裏面〉

返信

50	往復はがき □□□□□□	さっぽろ農学校 入門コース受講希望
返信		フリガナ 氏名 ○○○○○○ 年齢 ○○ 住所 ○○○○○○ ○○○○○○○ 電話番号 ○○○○
返信先の住所 返信先の氏名		

〈往信はがきの裏面〉

会場への交通



■地下鉄とバスで

- ① 地下鉄東豊線「環状通東」駅より
中央バス 東61番「中沼小学校通」行きに乗車(約20分)。
 - ② 地下鉄南北線「北34条」駅より
中央バス 東76番「中沼小学校通」行きに乗車(約20分)。
 - ③ 地下鉄東豊線「新道東」駅より
中央バス 東76番「中沼小学校通」行きに乗車(約15分)。
- ①②③とも「丘珠高校前」停で下車、徒歩10分。

※東76には夏期のみ一部の時間帯にさとらんど経由便があります。

■乗用車で

- ① 創成川通 → 環状通 → 札幌当別線
- ② 北1条通 → 国道275号 → 雁来篠路連絡線

お問い合わせ先

サッポロ
さとらんど

〒007-0880 札幌市東区丘珠584番地2
TEL 787-0223 FAX 787-0947